

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月24日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104274		
法人名	医療法人 佐藤循環器科内科		
事業所名	グループホーム朝生田の里		
所在地	松山市朝生田町4丁目10-25 (電話) 089-998-3344		
管理者	坂本 美江 三橋 幸江		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月8日	評価確定日	平成20年9月24日

【情報提供票より】 (平成20年6月27日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年8月27日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年6月27日現在)			
利用者人数	18名	男性 11名	女性 7名
要介護1	3名	要介護2	1名
要介護3	7名	要介護4	2名
要介護5	3名	要支援2	2名
年齢	平均 76歳	最低 61歳	最高 88歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

透析治療を必要とする利用者を受け入れておられる。事業所では、終末期を支援することを前提に受け入れておられる。全職員が看取りの方針を共有し、母体病院と協力し合いながら看取りを実践されている。
 車椅子を利用されていた方が「歩けるようになりたい」という希望を強く持たれており、ご家族、主治医、職員で話し合い、介護計画に採り入れ取り組まれた。ご本人は状態が良くなり、散歩ができるようになったという事例がある。
 母体法人の看護師による救命救急の研修等に参加しておられる。又、グループホームの全国大会で「透析医療とグループホーム～障害を抱えてもお生き生きと」という題で実践発表をされた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、利用者個々のさらなる思いの把握に向けて、センター方式の書式を採り入れられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・今回の自己評価は、職員全員で取り組まれた。管理者は、職員個々の考え方等も分かり、介護への意識の足並みが揃った部分も多々あると話されていた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議には民生委員の方、近隣者の出席もあり、公民館で行われているサロンに参加してみてもどうかという意見もいただいたり、地域の夏祭りの盆踊りに参加するために、地域の方とともに練習をすることとなった。又、会議では回覧板を回していただけるようお願いをされた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・行事や外食時に、ご家族同士が交流されている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地域の盆踊りや近隣施設の文化祭等に、参加されている。又、事業所主催の夏祭りには地域の方も来られ、一緒に楽しんでいる。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 坂本 美江

評価完了日

平成20年6月25日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしさを基本に、理念を作り、明文化している。		
			(外部評価)		
			事業所では、「地域密着」の大切さを感じられ、昨年、「尊厳の保持」「自立支援」とともに「地域との密着」を理念に掲げられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			尊厳の保持・自立支援・地域との密着を掲げ実践しようと日々取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			ミーティング毎に、理念にもとづき話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議で地域の方に理念を説明した。また家族にも、説明するとともに、いつでも見やすい所に掲示している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) お花見、運動会、夏祭り、盆踊り大会等の行事に積極的に利用者とスタッフが参加し交流している。散歩の際や出勤、退勤時にもご近所さんに挨拶など交わっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域で開催された盆踊りに練習に参加した。また近隣の他施設で開催された文化祭やバザーに利用者とともに参加し交流した。 (外部評価) 地域の盆踊りや近隣施設の文化祭等に参加されている。又、事業所主催の夏祭りには地域の方も来られ、一緒に楽しまれている。		事業所では、さらに地域の方達に事業所のことを知っていただきたいと考えておられる。今夏の夏祭りには、ボランティアの受け入れ等も検討されている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で地域の方々の介護について、相談に応じたりしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員とする事によって、意義を理解している。具体的改善も全職員参加のミーティングで話し合った。 (外部評価) 前回の評価結果を受けて、利用者個々のさらなる思いの把握に向けて、センター方式の書式を採り入れられた。今回の自己評価は、職員全員で取り組まれた。管理者は、職員個々の考え方等も分かり、介護への意識の足並みが揃った部分も多々あると話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議にて、スライドを使っのグループホームや認知症介護の実情の説明を行った。また外部評価の改善項目についても説明した。		
			(外部評価)		
			会議には民生委員の方、近隣者の出席もあり、公民館で行われているサロンに参加してみようかという意見もいただいたり、地域の夏祭りの盆踊りに参加するために、地域の方とともに練習をすることとなった。又、会議では回覧板を回していただけるようお願いをされた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			研修に参加し、話す機会を作っている。またその研修をケアに活かせるように周知している。		
			(外部評価)		
			市の担当者の方にも夏祭りに参加いただいた。又、運営推進会議時に、外部評価の意義について「ご家族の安心と新しい気付きのために取り組むもの」という説明をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修に参加した職員により、カンファレンスで学ぶ機会は持ったが、現在必要な利用者がおらず、活用には至っていない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修で学んだ資料を他職員にも配布し、問題提起した。虐待がないよう、注意を払っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長による十分な説明を行い、理解、納得を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるように努め、意見が出やすいようにしている。またそれらを上の者に報告するとともに職員間でも考え、運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 日頃からご家族とコミュニケーションをとったり、施設の新聞を定期的にする事により、報告をしている。 (外部評価) 事業所新聞・介護計画書をご家族に送付する際には、日々の写真を添え、利用者ご本人に一筆書いていただくようにされている。頻繁に来訪されるご家族には、その都度、近況報告をされており、遠方にお住まいのご家族には、外出や行事時の写真入りハガキを送るようになっている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見ポストを置いたり、日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるように努め、意見が出やすいようにしている。またそれらを運営者に報告するとともに職員間でも考え、運営に反映させている。 (外部評価) 行事や外食時に、ご家族同士が交流されている。		事業所では、頻繁に顔を合わせるご家族とは、関係作りができているが、遠方にお住まいのご家族は、意見等が言いにくいのかもしねないと感じておられる。ご家族のご事情も踏まえながら、意見を引き出せるような取り組みの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1度の全員ミーティングや職員アンケートを行い、職員の意見を聞く機会を設け、話し合い、すぐに改善できる点は改善した。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 1、2階で連携し、職員が助け合いながら状況の変化や要望に対し柔軟に対応するようにしている。また必要時には勤務調整を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ほとんどの職員が両ユニットを経験しており、異動があっても全く知らない訳ではないので、馴染みの関係作りが出来ている。そのため利用者への負担は少ないと思われる。 (外部評価) 2ユニット全体で行き来されており、職員と利用者が顔馴染みになっている。職員同士の交流もあり、施設長や管理者が職員の悩み等を聞き取っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) その人に適切な研修受講を促し、スキルの向上に努めている。 (外部評価) 外部研修を受講した職員は、ミーティング後の勉強会で報告されている。母体法人の看護師による救命救急の研修等に参加しておられる。又、グループホームの全国大会で「透析医療とグループホーム～障害を抱えてもなお生き生きと」という題で実践発表をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他施設との勉強会や研修があれば、職員全員に声かけを行い、実際に参加している。		
			(外部評価)		
			十数件のグループホーム事業所等が集まる勉強会に職員もともに参加し、交流を図っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			必要だと思う職員には個別面談を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修や資格取得など努力したことに対する評価制度があり、モチベーション維持に役立っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			運営者および管理者が中心に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に運営者や職員との面談で話を聴く機会を持っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 施設は主に透析患者を受け入れており、他サービスの利用につながるケースは少ないが、必要に応じて運営者が対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用前に施設を見て頂き、時にはおやつやレク活動に参加いただき、生活の様子や雰囲気を体験できる機会を持っている。 (外部評価) 以前から母体病院を受診されていた方の入居が多く、顔馴染みの方もおられるが、事前に事業所で一緒に過ごしていただく等、雰囲気を感じていただくようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者との会話の中から、生活歴や趣味や特技など把握し、活躍できる場面を作っている。 (外部評価) 裁縫の得意な方が、他の利用者の方のズボンの裾の繕いをして下さったり、袋やクッションを作って皆さんにプレゼントをされる方もいる。時に、利用者から料理を教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 食事の介助に来て下さるご家族もあり、近況報告を密にし、共に支えていく関係作りができています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族との関係が疎遠にならないように、行事等への参加の声かけを行ったり、遠方のご家族には、行事の様子を載せた新聞を送ったりしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族や友人、知人の方が、面会にきやすい雰囲気作りに気をつけています。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中で職員が個別性を理解し、利用者同士のより良い関係が築けるようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所後、いつでも相談に応じる気持ちは伝えている。葉書や電話のやり取りもある。		今後、退所された方にも夏祭りの案内を送る事も検討。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中から、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、個々の希望に沿えるように努めている。		
			(外部評価)		
			介護度が重度で意思表示が難しい方は、日々のかかわりの中での小さな表情の変化も見逃さないように努めておられる。又、ご家族とともに「本人だったらどう思うだろう」と考えながら検討されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			センター方式を利用し、本人や家族から情報収集し、把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ケース記録に日々の何気ない会話や活動内容を記入し、職員全員で把握できるようにしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者や家族に希望や願いを聞き取ったり、カンファレンスで利用者の情報を共有し、それらに沿った介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			車椅子を利用されていた方が「歩けるようになりたい」という希望を強く持たれており、ご家族、主治医、職員で話し合い、介護計画に採り入れ取り組まれた。ご本人は状態が良くなり、散歩ができるようになったという事例がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態の変化があった場合は、新たな介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しの他に、退院時等、身体面・意欲面等に変化がある場合には計画を見直すようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子やケアについてはケース記録に記入し、職員間で共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療機関が隣接しており、医療連携体制を活かし、施設内で医療処置を行うなど柔軟な対応をしている。		
			(外部評価)		
			透析治療を必要とする利用者を受け入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 行事の時にはボランティアを頼んだり、定期的に防災訓練を行うなど、他機関の協力を得ている。		教育機関や警察との協力も推進していきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望者には外部から委託したマッサージのサービス事業者も受け入れている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ必要がない為、地域包括支援センターと協働はしていないが、運営推進会議には出席頂き情報の交換や、支援センター主催の研修等に参加している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体が病院であるため、適切な医療を受けられる体制がある。 (外部評価) 利用者全員が透析治療が必要であり、隣接の母体病院で受診されている。眼科や耳鼻科、整形外科等の受診はご家族が付き添われ、ご家族から報告を受けるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体病院の医師に気軽に相談や治療を受けられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) グループホームや母体病院の看護職員に、報告・連絡・相談し、健康管理や医療支援を受けている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 母体が病院であるため、連携病院との情報交換は柔軟に行えている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したり、終末期を迎える事が前提の受け入れをしており、方針についてはターミナル初期の段階から聞くようにしている。また、それらは医師主導で方針の共有を図っている。 (外部評価) 事業所では、終末期を支援することを前提に受け入れておられる。全職員が看取りの方針を共有し、母体病院と協力し合いながら看取りを実践されている。ご家族も居室でともに過ごされることもある。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 母体病院の協力を得ながら、できる限りの事は施設で行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 転居時には、介護要約などで連絡を密にし、情報交換を円滑に行い、ダメージ防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			理念のひとつにも掲げている尊厳の保持に基づき、言動、対応には十分に配慮している。また個人情報の取り扱いには注意を払っている。		
			(外部評価)		
			事業所新聞に載せる写真等についてもプライバシーに配慮し、取り扱うようにされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日々の会話から思いや希望を聞き取り、可能な限りその思いに沿えるように支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			その人らしい暮らしができるように、個人のペースに合わせた支援をできる限り行っている。		
			(外部評価)		
			全利用者が透析を受けていることもあり、利用者それぞれの体の調子に合わせて支援されている。又、職員は、利用者の意欲等も見ながら働きかけておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみは本人に選んで頂いている。理美容に関しては、本人や家族の希望を聞き、訪問美容や自宅近所の理髪店に行かれる方もおられる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者全員が透析患者のため、希望通りの食事は難しい。食事については、職員も利用者と共に摂ったり、お盆拭きや食器拭きをしている。		
			(外部評価) 普段は腎臓病食や糖尿病食でお好きなものも我慢しておられるが、利用者の方々の「生きる意欲に繋がる食の楽しみ」を考慮し、行事や誕生日、外食時にはお好きな物を自由に食べていただくようにされている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者全員が透析患者のため、制限があるものの、可能な限り楽しめるように支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンをつかむため、排便シートを使用してトイレで排泄できるように声かけを行ったりと個人に合わせた支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			全員が透析患者のため、自ずと非透析日の入浴になる。入浴時は声かけを行い、できる限り本人の希望に沿った時間帯に入浴できるように支援している。		
			(外部評価)		
			現在、利用者は、入浴がお好きな方ばかりで、体調等も見ながら希望されるときに入浴できるよう支援されている。介護度が重度で事業所での入浴が困難な方には、母体病院での機械浴を利用されている。手浴等も支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			疲れたら居室に戻られるなど、お好きな時に休んで頂けている。意思表示できない方に関しては、職員が状態を把握し、休んで頂くようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			日々の会話から、一人ひとりの生活歴を知り、裁縫や花植えなど関心のある事柄ができるように支援している。		
			(外部評価)		
			利用者個々が「楽しい人生だった」と思っていただけのような支援したいと職員の方々は話しておられた。「利用者一人ひとりがヒーローになれる日」を作ったり、又、事業所でも楽しむ機会を作り、ご家族も招き、ともに楽しませている。母の日には男性利用者が女性利用者にプレゼントし、父の日には女性利用者がクッキーを焼いて、バラの花と一緒にプレゼントされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			個人の力に合わせてお金を所持している方もいる。また普段はお金を所持していない方も、買い物時には本人に支払いをして頂くよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩のお好きな方も多く、希望に沿って外出できるようにしている。		
			(外部評価)		
			外出を好まれる方が多く、体調等も見ながら個別に外出を支援されている。又、月1回は、全員で外食に出かけたり、動物園やお花見、演奏会等に出かけておられる。近所への散歩時には、近隣の方が「がんばってらっしゃるね」等と声をかけてくださることが増えてきた。又、ご家族の協力で石手川の土手等に出かける方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者の希望を聞き、外食や買い物、公園などに出かけている。また家族の方にも声かけをして、一緒に出かける事もある。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			遠方のご家族に郵便がある場合、利用者に声をかけ、手紙を書いて頂いてる方もいる。また、個室に電話があり、自分でかけられない方は手伝い、いつでも友人、知人と話しができるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			職員の明るい声かけ、挨拶は怠らないようにし、いつでも気軽に訪問できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアを大原則としており、ベッド柵の使用は安全上のための必要最低限としている。また柵の使用については、家族から同意書を頂いている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 暖かい日には玄関の戸を開放するなど、いつでも外に出かけられるように、夜間以外鍵をかけないケアをしている。 (外部評価) 玄関のドアは開け放され、テラスへの出入り口も鍵はかけず、いつでも外に出られるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 共用部分での様子の把握は勿論の事、居室で過ごされている方のプライバシーに配慮しつつ、こまめに声をかけるなど、安全に配慮している。また夜間は1時間おきの見廻りを行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品は、職員間で把握し、事故のないように配慮している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 見守りの徹底、誤薬がないようマニュアルを作り、事故が起きないように取り組んでいる。また、事故再発防止のため、インシデント対策委員会を作り、状況の分析、解決策を挙げている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 母体病院の看護師により、定期的に勉強会を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急時の対応については半年に一度、消防署の指導の下防災避難通報訓練を実施。運営推進会議では、地域の方に特に夜間の火災時の協力を呼びかけている。 (外部評価) 年2回、消防署の指導のもと、階段の上り下りが可能な利用者と一緒に避難訓練を行ってられる。近隣の方には「すぐに駆けつけるよ」と言っていたき、職員も管理者も心強く感じてられる。		事業所では、今後、夜間を想定した避難訓練を実施したいと考えてられる。さらに、協力いただける地域の方を増やし、地域の方達と相互に協力し合える体制を作っていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時には必ず状態報告を行い、その時々々のリスクについて説明している。またその対応についてもご家族と話し合い、理解を得られるようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の様子の観察や声かけを怠らず、体調の変化など職員間で情報を共有している。また、異常発見時には担当医にすぐに報告し、速やかに対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者全員が透析患者のため、合併症もあり、多くの薬を服用されている方もいるため、すべての把握はできていない。		薬の把握に努める。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分制限があるため、便秘の予防は難しいが、栄養士によるバランスのとれた食事や散歩などで解消できるようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 全介護でうがいや吐き出しの出来ない方もおられ、毎食後の口腔ケアはできていない方もいる。		毎食後、口腔ケアができるように声かけ、介助を行う。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 病院の管理栄養士の指導、相談のもと、臨機応変に個人に応じた支援を行っている。 (外部評価) 母体病院の厨房で調理された、腎臓病食、糖尿病食が届くようになっている。水分制限が必要な方の水分管理等も母体病院と連携して行っておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染予防マニュアルがあり、時期に応じて職員間で再認識するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理用具は毎日必ず殺菌消毒している。また食材も賞味期限切れの物は使用せず、常に新鮮な物を使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先に手作りの看板を飾ったり、中庭に花壇を作っている。また暖かい日には、扉を開け開放感のある環境作りを心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居間や廊下等に季節を感じて頂ける飾り付けをしている。また不快な音や光がないように心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には行事時の写真が飾られていた。テラスには椅子とテーブルを配し、利用者が植えられた朝顔が咲いていた。利用者や職員が飾り付けた七夕の飾りがあった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居間は狭く、思い思いに過ごせる空間はないように思われる。しかし、席の配置には配慮して楽しく過ごして頂けるようにしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使われていた時計や椅子を置かれている方もおられる。		
			(外部評価)		
			居室入り口には、それぞれに暖簾が掛けられており、好きな椅子を配したり、ベッドサイドにテーブルを置き、辞書や本を並べておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気は随時行っている。また温度調節は利用者を中心に考え、快適に過ごして頂けるように注意を払っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手押し車や車椅子、杖などでの本人の自立した生活を支援できるように、空間の確保や危険物の移動など注意を払っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			日々の暮らしの中で、ご自分でできる事はして頂くようにしている。ただし、混乱を防ぐために職員も見守りは怠らず、その人の持っている力を最大限に活かせるような声かけやさりげない介助を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関先や中庭にベンチを置き、利用者が気軽に外に出て、花を観ながら楽しく歓談できるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の会話から、利用者の思いや願いなど掴もうとしているが、自分の意思を伝えられない方もおられる。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	散歩に出かけたり、居室や居間で話しをする時間を作るように心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	透析治療のため制限はあるものの、それ以外の時間は思い思いに暮らせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	レクリエーションや散歩など、日常の関わりから生き生きとした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の会話から、要望を聞き行事などで取り上げている。また散歩の好きな方は散歩に出かけるようにしている。ガイドヘルパーの支援を受け、外出されている方もおられる。自分で意思表示のできない方については、汲みとれていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	母体が併設の病院であり、すぐに連絡できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り要望に沿えるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族が面会に来られた時は、必ずコミュニケーションをとり、信頼関係作りに努めている。その中でご家族の方が話される事もある。遠方のご家族は、年に2回程度の訪問のため、ゆっくりと話す機会も少ない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	昔からの友人が訪ねて来られる事もあるが、地域の方は、運営推進会議や夏祭りのみとなっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事への案内や施設での夏祭りに参加頂くなど、徐々にだが、理解者が増えてきているように思われる。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者と共に楽しみを共有している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	母体が病院という事もあり、安心感はあると思う。食事・水分など制限があり、全ての要望に応えられない事もあるが、利用者の話しをよく聞き、要望に副えるようにはしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	母体が病院という事もあり、安心感はあると思う。しかし、職員に遠慮して言えない部分もあると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者全員が透析患者のため、医療面のケアを必要とされる利用者が多い。利用者の多くが入院の延長として入居されており、寝巻きで一日中過ごされたり、できる事も職員に任せきりになっていた。しかし、入院されているのではなく、できる事はご自分でされるなど、生活の場としてのグループホームを利用者や家族にも理解してもらえるように努めている。母体が病院のため、利用者や家族の医療面に対する安心感はあるだろう。今年は、レクリエーションの回数も増えて内容も充実したものとなってきている。利用者の生活がより良くなるように職員間で話し合い、透析という制限のある中でも楽しみをもてるようなケアができるように努めている。